

文部科学省による航空機モニタリングの結果を踏まえ、空間放射線量測定を実施しました。

文部科学省は、9月14日～18日にかけて広域の放射性物質による影響を把握するため、ヘリコプターに高感度で大型の放射線検出器を搭載し、地上に蓄積した放射線物質からのガンマ線を測定する航空機モニタリングを実施し、その結果を10月6日に報道発表しました。

その結果を踏まえ、奥多摩町では、町内における空間放射線量を把握するため、10月7日～11日にかけて町内32か所の空間放射線量を測定しました。測定結果については、下記のとおりとなります。

測定箇所図

単位： $\mu\text{Sv/h}$

奥多摩町内空間線量測定結果表				
番号	測定地点	地面から高さ1m	地面から高さ5cm	備考
1	大丹波林道終点付近	0.12	0.12	
2	大丹波奥茶屋	0.13	0.12	
3	大丹波旧分校	0.10	0.11	
4	古里中学校	0.10	0.10	
5	川井丹縄	0.13	0.13	
6	梅澤スポーツ広場	0.10	0.12	
7	梅澤林道終点	0.13	0.14	
8	古里小学校	0.11	0.12	
9	寸庭林道終点	0.16	0.16	
10	棚沢旧分校	0.13	0.13	
11	西川線林道終点	0.13	0.13	
12	海沢林道終点	0.13	0.13	
13	海沢中野	0.09	0.09	
14	氷川中学校	0.09	0.09	
15	氷川小学校	0.09	0.09	
16	奥多摩病院付近	0.09	0.10	
17	鋸山林道オオダワ	0.18	0.19	
18	三ノ木戸	0.11	0.12	
19	栃寄都民の森	0.09	0.09	
20	中山道所	0.08	0.10	
21	水根地区	0.12	0.12	
22	旧小河内小学校	0.11	0.10	
23	峰谷奥地区	0.11	0.12	
24	峰谷峰地区	0.11	0.11	
25	峰線作業道終点	0.12	0.12	
26	留浦地区	0.09	0.09	
27	庄ノ指地区	0.10	0.10	
28	山のふるさと村	0.10	0.10	
29	周遊道路月夜見第2駐車場	0.11	0.11	
30	大沢小菅地区	0.10	0.10	
31	日向沢ノ峰付近	0.19	0.20	
32	日原旧小学校	0.09	0.09	

※測定機器：DoseRAE2 PRM-1200

測定条件：地上1mの地点を町職員が測定

30秒間隔で5回測定した値の平均

※町が使用する測定器は、ガンマ線から個人の外部被ばくを管理するための機器で、安全側に評価するよう高めの数値となります。

東京都の検証によると、地上1mで平均1.46倍、地上5cmで平均1.38倍の値が測定されます。

今回の測定結果（最大値） $0.20 \mu\text{Sv/h}$ を年間の積算線量に換算すると

（条件）

自然放射線量は全国平均で $0.05 \mu\text{Sv/h}$ /時間

屋外に 8 時間、木造家屋内に 16 時間いると仮定

木造家屋内滞在（16 時間）における低減効果（計数 0.4）

$$(0.20 - 0.05) \times (16/24 \times 0.4 + 8/24 \times 1) \times 24 \times 365 = 788.39 \text{ マイクロシーベルト} = 0.78 \text{ ミリシーベルト}$$

年間積算線量が 1 mSv/h を下回るため、健康に影響を与える数値ではないと考えられます。